市民力かわら版

第３号
平成２０年１月１５日
編集/市民力かわら版編集委員会
発行/矢板市秘書政策室
電　話：0287-43-3764
ファクス:0287-43-2292
Eメール：
yaita@city.yaita.tochigi.jp

新年号でチュウ！

寒い季節、矢板のあちこちで温かい光がたくさんともりました

みんなで作る駅前イルミネーション　光のファンタジー

昨年末十二月一日から駅前イルミネーションの点灯が始まりました。駅前のシンボルでもあるヒマラヤ杉周辺には約一万球のＬＥＤライトが取り付けられました。

オレンジと黄色の温かい色合いで、駅に降り立つ通勤通学の人を迎えていました。この取り組みは、長年にわたり矢板市がヒマラヤ杉を飾ってきたものに、前回から「矢板まちづくり研究所」が加わり主体となって行われています。点灯式ではミニコンサートが開かれ、クリスマスソングが集った市民を楽しませました。今後は駅前全体の装飾を目指しているそうです。多くの人が参加しており、矢板の冬の楽しみの一つになってきたようです。また今回よりＪＲ矢板駅が参加。駅舎の屋根がイルミネーションで縁取られました。市と市民・企業が一緒に参加し取り組んでいるイベントとなりました。

でんきを消してスローな夜を

地球の未来を考えてみる時間

たくさんの光に包まれる夜も良いですが、地球温暖化が深刻な問題となっている今、電気の明かりを消しキャンドルの灯りで夜を照らす世界的な温暖化防止のＰＲイベント『キャンドルナイト』が各地で行われています。市内でも十二月二十二日(冬至)に矢板駅前と片岡駅前で行われました。

矢板駅前では、一万球を越えるイルミネーションが消され約三〇〇個のロウソクに明かりがともりました。風よけに上部を切り取ったペットボトルを利用し、底に砂を敷いた上に置かれたロウソクの明かりは幻想的で、冬空の下とても温かく見えました。

明るく･安全な地域に総力を結集！

矢板五区街路灯・防犯灯設置委員会委員長
庭山友二さんに点灯式のお話を伺いました。

十二月二十二日、矢板五区地域に新設になった街灯が点灯しました。市長はじめ多数の来賓を迎え点灯式が行われました。

矢板五区は、営林署育苗畑・大興電機跡地が宅地となり、以前より住民が倍増した地域です。地区内住民の理解を得て、区費値上げによる資金の備蓄に始まり、市のご理解により交付金の予算を獲得することができました。また企業・商店等の多大なる寄付金もあって四年来の念願を実現することに成功しました。

「今後は、年度内に住宅地内の防犯灯整備を実行し、明るく安全な地域を目指しています。より住みやすい地域にするため住民の活力を最大限に発揮し続けるよう努力したい」と語っていました。

市民力かわら版の愛称を募集中！

編集委員会ではかわら版の愛称を募集しています。あなたにとって矢板をイメージするような、素敵な愛称を、どしどしお寄せ下さい。
ハガキ・ファクス・Ｅメールで
矢板市秘書政策室
（〒329-2192 矢板市本町5-4）迄